

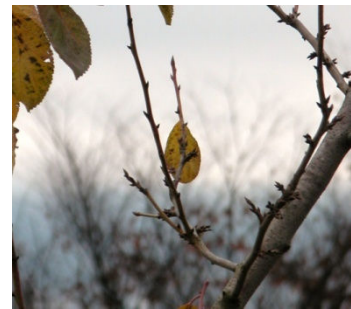
山梨大学学生フォーミュラ部

11 月中間報告書

支援者皆様へ

初冬の候、ますますご繁栄の事とお喜び申し上げます。このたびは、山梨大学学生フォーミュラ部の 11 月の中間報告をさせていただきます。

11 月が終わり、2009 年も残すところ 1 か月となりました。弊部では、先月の報告書でも申し上げましたが、1 月の中旬までに設計を完了し、1 月の下旬からは車両の製作を開始していきたいと考えております。このため、現在では各班車両の設計を進めており、車両製作が計画通りに進められるよう日々活動しております。また、この設計の段階は遅れてしまうと製作に大きく影響してきてしまうため、12 月も部員一同努力してまいります。今後も皆様の御支援・御声援よろしく願いいたします。



活動報告

・日本航空高等学校様訪問

11 月 13 日に、日本航空学園様へ見学訪問をさせていただきました。今回は、弊部の要望に対しまして、前向きに検討していただきありがとうございました。また、お忙しい中私たちのためにお時間を割いていただき誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

・山梨工業会東海支部総会

11 月 14 日に行われました、山梨工業会東海支部に山梨大学学生フォーミュラ部として出席させていただきました。総会では弊部の紹介や、09 年大会の報告等をさせていただきました。今回は、弊部にこのような機会を与えていただきありがとうございました。そして、数多くの方々の御支援ありがとうございました。来年の大会こそは、皆様の期待にお応えできますよう努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

・山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポの出展

11 月 19 日から 21 日に、アイメッセ山梨にて行われました山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポに出展いたしました。弊部では、09 年大会に参加した Shingen09 の展示を行いました。今回で弊部の出展は 2 回目となりますが、今年も多くの方々に見

ていただき、多くの方に弊部の事を知っていただくことができました。そして、来場してくださった方や同じく出展をしておりました企業の方々からのご声援いただき、本当にありがとうございました。



また、今回は出展におきまして主催者の方々には大変ご迷惑をかけてしまいました。本当に申し訳ございませんでした。今後はこのようなことがないように致しますので、これからもよろしくお願いいたします。

・日産サポート講座

11月の14, 15, 21, 22日に日産自動車株式会社様が主催の日産サポート講座が行われました。この講座は、マネジメント編とエンジニア編の二つの内容となっており、車作りにおける基本的な内容となっておりました。弊部からは1, 2年生の部員が参加させていただき、今後の活動に必要な知識を得てまいりました。講座を開催していただきました関係者の皆様、誠にありがとうございました。

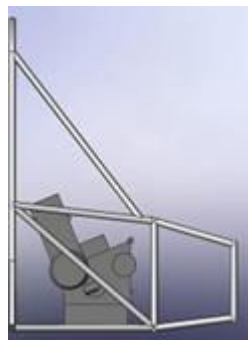


車両製作

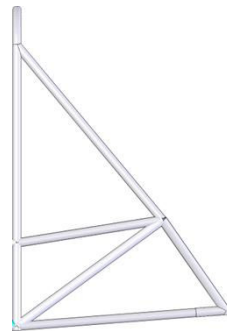
・車両設計

先にも述べましたが1月初旬が車両の設計完了となっており、あと1か月ほどとなりました。このため11月は各班設計を着々と進めてまいりました。設計におきましては、各班ごとにそれぞれ集まり行っており、何度か全体の会議も行い、昨年不足していた各班の連携を強化しながら進めております。また、今現在設計を行っているのが主に1,2年生であるため、昨年まで設計を行っていた4年生にアドバイスをもらいながら、09年車両よりも進化した車両の開発を行っております。

現段階で決定しております昨年度車両との大きな変更点は、まずはフレームです。フレームは、昨年の問題点として挙がっていた、ペダルまでの距離が短かすぎたことや、リヤサスペンションの取付けにより生じた無駄なパイプなどを改善しました。また、更なる軽量化を図るためにリヤの形状を変更いたしました。



09年度車両リヤ形状



10年度車両リヤ形状

続いて足回りです。足回りでは、前述のフレーム形状の変更によるアームの取付け点と形状の変更に加え、今年目標であるパーツの一体化による剛性のアップを実現するために、アップライトの見直しを行います。具体的には、昨年まで使用していたアルミ材をやめ、鉄を使用することにより剛性のアップそして昨年までボルト止めしていた個所を溶接することでパーツの一体化を図ります。



10年度車両アップライト形状(構想)

そしてエンジン回りです。エンジン回りでは大きな変更点というものはありませんが、10

年車両では燃料タンクの構造の変更を行います。具体的には、燃料ポンプをインタンクからアウトタンクに変更します。これは、昨年から変更されたドライバースペースに関するルールに対応させることと、この様にすることでタンク形状に自由度が増え、より低重心を狙ったタンク形状にすることができるからです。

以上が現段階で決定しております大きな変更点です。これからも、大きなところから小さなパーツに至るまで、09年車両よりも進化した車両の設計を行ってまいります。

最後に

いよいよ12月に入り、設計も大詰めを迎えてまいりました。しかし、今現在は学校が中間テストの期間であり、なかなか設計を進めることができない状況となっております。さらにそれに追い打ちをかけるように、弊部が今まで使用してきました部室棟が改修工事に入り、来年の2月頃まで部室が使用できなくなっていました。このように、今は非常に厳しい状況となっておりますが、ここで遅れを作ってしまうと今年の遅れを出さないという目標が早くも崩れてしまうため、より一層部員一同努力してまいります。これからも、皆様の御支援・御声援よろしくお願いいたします。

山梨大学学生フォーミュラ部一同